

倶楽部に開會、依田學海翁の支那劇に付きて及森鷗外氏の獨逸劇に付きての話に付きて、講談、手品等の餘興あり、而して會員の催しにかゝれる詞林三歌仙の喜劇は最も觀者の喝采を博したるが如し。尚終りて園遊會に移り、一同撮影の上五時頃散會したりといふ。

●東京府第一高等女學校 愈本學年より淺草七軒町の新築校舍に移轉し、大に規模を擴張したりとの事。

●三輪田女學校 同校は先月愈高等女學校の認可を得たりといふ。

●葵卯園遊會 下田歌子女史の經營せる實踐學校及女子工藝學校の擴張費に充てんがため、華族女學校卒業生諸氏の催しにかゝる同會は愈先月二十五、六の兩日築地水交社内にて舉行せしが、

活人畫といひ舞といひ、中々立派の見物なりきといふ。

●保育部大會 今回大阪大博覽會の開會を機として該地に開かるべき教育大會は、本月五日六日の兩日にして、其一部たる保育部大會々々長大村芳樹氏より特に當會に向け招待狀を贈られたるが同會の次第書は左の如し。

五月五日
午前八時開會
一、君ケ代二回合唱(ビヤノ伴奏)
一、演 説
一、音 樂 (管絃合奏)
休 憩 (豐食)
午後一時開會
一、音 樂 (ビヤノ彈奏)
一、討 議
一、音 樂 (管絃合奏)
一、討 議

保育部大會次第書

一同起立

一 音樂 (ピアノ彈奏)

五月六日

午前八時開會

一 音樂 (管絃合唱)

一、遊戲の交換

一、音樂 (管絃合奏)

休 憩 (畫食)

午後一時開會

一、音樂 (ピアノ彈奏)

一、隨意談話

一、音樂 (大阪市歌ピアノ伴奏)

散 會

新刊紹介

●家庭雜誌第一號 堺 枯川 編輯

家庭の新風味を書いた枯川氏が、大方一人で編輯せらるゝ雜誌である。従つて彼書を読んだ人には大抵此雜誌の風が分ると思ふ。

我輩は此の様な雜誌が普く一般家庭に歡迎せられん事を希望する
定價一冊六錢 發行所、本郷區本郷二ノ四 由分社)

會 報

第七總會

先月二十一日午後一時半、女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會せり。初に中村主幹の開會の辭ありて次に會務報告、唱歌(保姆合唱の歌)に移り夫より井口あぐり嬢の「衣食住と體育との關係」(説林に登載)に付さての演説あり。次に林蝶子、安井こら子二嬢のピアノ、ワイオリンはいと面白く合奏せられ、夫より幹事投票、休憩あり此間に陳列品など隨意參觀せられ更にタツピング夫人の演舌あり(次號に掲載すべし)て、熱心なる口調もて夫人自身の境遇より説き及ぼして普く世の保姆女子教育家に希望せられたる所、頗る聴者の感動を引きたりしが如し。夫よりは餘興として筑前琵琶